エコスタイルのキッチン、ユーティリテイ

▲道南ブナの床と木製キッチンは
アンティーク仕上で統一。
壁の珪藻土と白い磁器タイルが
シンプルでナチュラル空間を引き立てる。

◀市松貼りのコルクタイルがポイント。
腰壁の珪藻土タイルが呼吸して
結露やカビを防いでくれる。

珪藻土タイル

桐、ヒバ、ヒノキ

リターナブルパウダー

耐水性 オイルワックス

水廻りは危険がいっぱい！

システムキッチンやシステム洗面化粧台といえば、つい最近まではシックハウスの原因になる揮発性化学物質の発生源だった。

収納扉の中を開けホルムアルデヒド簡易測定をしてみるとすごい勢いで感知し始め、高濃度のホルムアルデヒドが基準値の数倍になるのを目にしてしまうと、この中では生きていけないなーと実感させられていたものだ。これは当時使われていた化粧パネル下地のパーチクルボードの接着剤や仕上げの塗装などが原因で、収納内部は通気されずに放出された化学物質が充満していたためだ。今では当時に比べるとずいぶん良くなっているようだが、規制化学物質の替わりに代替の接着剤に頼って作られていることには変わりはない。

キッチンやユーティリテイはガス器具・灯油ボイラーの燃焼ガスや電磁調理器・電子レンジの電磁波など健康へのリスクがあり、家中で一番危険な場所でもあることをつい忘れがちになる。

主婦がシックハウスや化学物質過敏症にかかる割合が多い理由は、男性に比べ女性は化学物質を解毒する免疫システム能力が低いことと、キッチンや洗面所にいる時間が長いことが原因と思われる。

特に妊娠中の女性は注意が必要だ。何故ならばあらゆる化学物質や重金属が胎盤を通して胎児に蓄積され母乳にも溶け込むためで、免疫システムが出来ていない子どもたちに全てのツケが回ってしまう事になるからだ。

自然素材で水廻りを考える！

健康へのリスクを避けるうえでも快適で気持ちの良い自然素材を生かしたナチュラルな空間として、水廻りの環境を考えてみてはどうだろうか。システムキッチンならばホーロー、アルミ、ステンレスなどの金属製品を使うことで対応するのも手だが、どうせならば思い切って無垢の木で作るのが良いと思う。オープンスタイルの木製キッチンや洗面化粧台ならば、さほどコストもかからないし、給排水に絡む場所は扉の付いた収納を最小限にして通風を良くする事が出来るため衛生的でもある。木製と言っても合板や化粧ベニヤで作ったオリジナルキッチンでは接着剤の使用量は既製品と大して変わらないので意味がない。無垢の木をしっかり使って天然塗料で仕上げたいものだ。無垢の木をつなぎ合わせた幅はぎ板と羽目込み板を組み合わせて造る、心地良い仕事だ。パイン材やシダー材など木の樹種によってずいぶん雰囲気も変わってくる。仕上げに木肌を生かしたいならば植物油がベースの天然オイル塗料と耐水性の高いカルナバワックスの組み合わせが良いだろう。天板は木、ステンレス、タイル、大理石などからお好みをチョイス。床、壁、天井の仕上げにも、もちろん自然素材を選ぼう。耐水性の高い素材、抗菌性の高い素材、調湿性の高い素材などが条件になる。

水廻りの空間におすすめの自然素材！

塩化ビニールの壁紙、塩化ビニールのフロアー、塩化ビニールのラップ、どれも環境負荷の高い汚染物質を含むプラスチックで出来ている。ナチュラルな空間には不釣合い。エコスタイルを気取るなら自然素材で決めてみよう。床仕上げで水に強い木といえば桐フローリングだろうか、広葉樹にもかかわらず軽くて狂いが少ない性格は調湿性にも富み、冬でも暖かな床になる。また抗菌性の道産木を選ぶなら道南ヒバ、本州材ならばヒノキなども使ってみたい。コルク榲桲の木片チップを固めたコルクタイルも桐と同じようにお勧めの素材でリフォームにも適している。壁仕上げには呼吸性に優れた道北産の珪藻土を原料にした塗り壁材「リターナブルパウダー」が良いだろう。施工性、機能、安全性どれも◎でユーザー施工にもお勧めの一品、ソフトな仕上がり感が良い。又道南の噴火湾産ホタテの貝殻を粉砕してつくった漆喰壁「ほたて漆喰」は抗菌性に富んだハードな仕上り感の塗り壁材。どちらも天井の仕上げにも使える北海道産健康建材の代表だ。

変わり者では珪藻土を高温で焼きセラミック化した珪藻土タイルがおもしろい。キッチンレンジ前の壁、洗面所、特に洗濯機裏の壁、脱衣場の床、浴室の壁などに使ってみよう。汚れや臭いを吸収し、結露やカビを防ぐなどの思わぬ効果がある。水廻りにも適した自然素材選びでエコスタイルを楽しもう。

エコデザイナー
西條 正幸
1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの
店舗、住宅の 空間デザイナーとして活動。
自然素材にこだわった
新築、リフォームの設計、施工会社
「西條インテリアデザイン」代表取締役。
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

Ecology House
環境と健康を考えたエコロジー建築

自然素材で新築・リフォーム
エ／コ／ロ／ジ／ー／建／築／エ／房
有限会社 一級建築士事務所
西條インテリアデザイン
本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
ホームページ http://www.saijo-d.com

資料請求番号
ハガキで資料を
取り寄せられます。

エコスタイルのキッチン、ユーティリテイ

▲道南ブナの床と木製キッチンは
アンティーク仕上で統一。
壁の珪藻土と白い磁器タイルが
シンプルでナチュラル空間を引き立てる。

◀市松貼りのコルクタイルがポイント。
腰壁の珪藻土タイルが呼吸して
結露やカビを防いでくれる。

珪藻土タイル

桐、ヒバ、ヒノキ

リターナブルパウダー

耐水性 オイルワックス

水廻りは危険がいっぱい！

システムキッチンやシステム洗面化粧台といえば、つい最近まではシックハウスの原因になる揮発性化学物質の発生源だった。

収納扉の中を開けホルムアルデヒド簡易測定をしてみるとすごい勢いで感知し始め、高濃度のホルムアルデヒドが基準値の数倍になるのを目にしてしまうと、この中では生きていけないなーと実感させられていたものだ。これは当時使われていた化粧パネル下地のパーチクルボードの接着剤や仕上げの塗装などが原因で、収納内部は通気されずに放出された化学物質が充満していたためだ。今では当時に比べるとずいぶん良くなっているようだが、規制化学物質の替わりに代替の接着剤に頼って作られていることには変わりはない。

キッチンやユーティリテイはガス器具・灯油ボイラーの燃焼ガスや電磁調理器・電子レンジの電磁波など健康へのリスクがあり、家中で一番危険な場所でもあることをつい忘れがちになる。

主婦がシックハウスや化学物質過敏症にかかる割合が多い理由は、男性に比べ女性は化学物質を解毒する免疫システム能力が低いことと、キッチンや洗面所にいる時間が長いことが原因と思われる。

特に妊娠中の女性は注意が必要だ。何故ならばあらゆる化学物質や重金属が胎盤を通して胎児に蓄積され母乳にも溶け込むためで、免疫システムが出来ていない子どもたちに全てのツケが回ってしまう事になるからだ。

自然素材で水廻りを考える！

健康へのリスクを避けるうえでも快適で気持ちの良い自然素材を生かしたナチュラルな空間として、水廻りの環境を考えてみてはどうだろうか。システムキッチンならばホーロー、アルミ、ステンレスなどの金属製品を使うことで対応するのも手だが、どうせならば思い切って無垢の木で作るのが良いと思う。オープンスタイルの木製キッチンや洗面化粧台ならば、さほどコストもかからないし、給排水に絡む場所は扉の付いた収納を最小限にして通風を良くする事が出来るため衛生的でもある。木製と言っても合板や化粧ベニヤで作ったオリジナルキッチンでは接着剤の使用量は既製品と大して変わらないので意味がない。無垢の木をしっかり使って天然塗料で仕上げたいものだ。無垢の木をつなぎ合わせた幅はぎ板と羽目込み板を組み合わせて造る、心地良い仕事だ。パイン材やシダー材など木の樹種によってずいぶん雰囲気も変わってくる。仕上げに木肌を生かしたいならば植物油がベースの天然オイル塗料と耐水性の高いカルナバワックスの組み合わせが良いだろう。天板は木、ステンレス、タイル、大理石などからお好みをチョイス。床、壁、天井の仕上げにも、もちろん自然素材を選ぼう。耐水性の高い素材、抗菌性の高い素材、調湿性の高い素材などが条件になる。

水廻りの空間におすすめの自然素材！

塩化ビニールの壁紙、塩化ビニールのフロアー、塩化ビニールのラップ、どれも環境負荷の高い汚染物質を含むプラスチックで出来ている。ナチュラルな空間には不釣合い。エコスタイルを気取るなら自然素材で決めてみよう。床仕上げで水に強い木といえば桐フローリングだろうか、広葉樹にもかかわらず軽くて狂いが少ない性格は調湿性にも富み、冬でも暖かな床になる。また抗菌性の道産木を選ぶなら道南ヒバ、本州材ならばヒノキなども使ってみたい。コルク榲桲の木片チップを固めたコルクタイルも桐と同じようにお勧めの素材でリフォームにも適している。壁仕上げには呼吸性に優れた道北産の珪藻土を原料にした塗り壁材「リターナブルパウダー」が良いだろう。施工性、機能、安全性どれも◎でユーザー施工にもお勧めの一品、ソフトな仕上がり感が良い。又道南の噴火湾産ホタテの貝殻を粉砕してつくった漆喰壁「ほたて漆喰」は抗菌性に富んだハードな仕上り感の塗り壁材。どちらも天井の仕上げにも使える北海道産健康建材の代表だ。

変わり者では珪藻土を高温で焼きセラミック化した珪藻土タイルがおもしろい。キッチンレンジ前の壁、洗面所、特に洗濯機裏の壁、脱衣場の床、浴室の壁などに使ってみよう。汚れや臭いを吸収し、結露やカビを防ぐなどの思わぬ効果がある。水廻りにも適した自然素材選びでエコスタイルを楽しもう。

エコデザイナー
西條 正幸
1960年伊達市生まれ。
札幌を中心にナチュラルスタイルの
店舗、住宅の 空間デザイナーとして活動。
自然素材にこだわった
新築、リフォームの設計、施工会社
「西條インテリアデザイン」代表取締役。
エコスタイルショップ「素材自店」店主。

Ecology House
環境と健康を考えたエコロジー建築

自然素材で新築・リフォーム
エ／コ／ロ／ジ／ー／建／築／エ／房
有限会社 一級建築士事務所
西條インテリアデザイン
本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139
ホームページ http://www.saijo-d.com

資料請求番号
ハガキで資料を
取り寄せられます。